

言語・数理運用科学習指導案

指導者 広島市立〇〇中学校
教諭 〇〇 〇〇

1 学年 第1学年

2 単元名 「給食から自給率について考えてみよう」

3 単元について

本単元は、給食の残食率などの複数の資料から読み取った情報を関連づけて、日本の食料自給率が低下した原因を推論していく単元である。また、推論したことをもとに自給率を上げるための方法を伝える新聞広告を作ることをめざす単元である。

そこでまず、「情報を取り出す学習」として、身近な給食を取り上げ、「食べ残しの多い料理」と「食べ残しの少ない料理」の特徴を読み取る場所から始める。それを食料の自給率と関係づけて給食の残食率と食料自給率の関係を考えていく。

次に、「思考・判断の学習」として、複数の資料から日本の食糧自給率が低下した原因を推論し、さらに、その自給率向上の取組を考えていく。

最後に「表現する学習」として、自給率向上の取組を新聞広告で表現し、交流・評価する学習となる。

思考・判断するためのポイントとして、次の3点の手立てを行う。

- 「何を思考するのか」を明示して、苦手意識を持つ生徒に対して、学習の意識付けとその継続を図る。
- 根拠を持って自分の意見を表現できるように、「資料から読み取れることや知識や経験(事実・根拠)」と「それをもとに自分が考えたこと(考え)」を区別しやすいように付箋の色分けで工夫する。
- 小グループによる活動を取り入れることで、関わり合いの中で読み取りや思考の内容を高めていけるようにする。

4 単元の目標

- 給食の残食率と自給率にどのような関係があるのか考え、複数の資料から読み取った情報を関連づけて、日本の食料自給率が低下した原因を推論し、それをもとに自給率を上げるための方法を伝える新聞広告を作ることができる。

5 単元の評価規準

情報を取り出す力	思考・判断する力	表現する力
○ 資料から「食べ残しの多かった料理」「食べ残しの少なかった料理」の特徴を読み取ることができる。	○ 読み取った情報から、日本の食料自給率が低下した原因を2つ以上推論することができる。	○ 自給率を上げるための方法を、根拠を明確にして伝える新聞広告を作ることができる。

6 単元の指導計画

時	学習活動	情	思	表	評価規準
一	資料から「食べ残しの多い料理」「食べ残しの少ない料理」の特徴を読み取り、食材の自給率と関係づけて、給食の残食率と自給率にどのような関係があるのか考える。	○			「食べ残しの多い料理」「食べ残しの少ない料理」の特徴を読み取ることができる。
二	自給率に関する複数の資料から読み取った情報を関係づけて、日本の食料自給率が低下した原因を推論する。(本時)		○		読み取った情報から、日本の食料自給率が低下した原因を2つ以上推論することができる。
三	日本の自給率を上げるための方法を考え、自給率向上の取組を呼びかける新聞広告を作る。			○	自給率を上げるための方法を、根拠を明確にして伝える新聞広告を作ることができる。
四	作成した新聞広告を交流し、評価する。			○	自給率を上げるための方法を、根拠を明確にして伝えることができる。

7 本時の目標

- 自給率に関する資料から日本の食料自給率が低下した原因を複数推論する。(思考・判断)

8 本時の評価規準

評価の観点	評価	具体的評価規準	児童の姿
思考・判断する力	A	読み取った情報を複数関係づけて、日本の食料自給率が低下した原因を2つ以上推論することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ⑤と⑥の資料を関係づけると、外食チェーンでは安さと安定供給を求めて、輸入食材を使っている、外食する割合が毎年増えているからだ。 ②と③の資料を関係づけると、日本で作る量が変わらないのに、食べる量が増えたからだ。
	B	読み取った情報から、日本の食料自給率が低下した原因を2つ以上推論している。	<ul style="list-style-type: none"> ③から、40年前に比べると、肉・植物油を摂る量がどれも3倍以上増えており、ごはん・野菜を摂る量が減っているからだ。 ⑤から外国の食材は安いからだ。
Cへの手だて		資料を選ぶことが困難な生徒には、机間指導の際、⑤の資料に限定して資料をもう一度読ませ、「食料の自給率が低下した原因は何だと思うか？」と声かけをし、それについての根拠となる情報を探させるようにする。	

9 本時の展開

	学習活動 ◆発問 (指示)	○ 指導と支援 ◎評価 (見取り)
導入	<p>(1) 本時の課題を把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 他国と比べて、日本の自給率はどのように変化していますか。 ◆ 読み取ったことを発表しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の学習を確認しておく。 残食率《高》＝自給率《高》 残食率《低》＝自給率《低》 ○ 資料3-①を提示する。
	日本の食料自給率が低下した原因を推論しよう。	
展開	<p>(2) 日本の食料自給率が低下した原因を2つ以上推論する。 (個人→グループ→全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ それぞれの資料を読み取り、読み取った内容を、それぞれの色別の付箋に書きましょう。 ◆ グループで、読み取った内容を交流しましょう。 ◆ グループで、複数の色の付箋を組み合わせ、日本の食料自給率が低下した原因を推論しましょう。 ◆ グループごとに読み取った内容を発表しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 考えることは「日本の食料自給率が低下した原因」であることを確認する。 ○ それぞれの資料の読み取り→組み合わせで推論の手順を進める。 ○ 6色のメモ用紙を用意し、資料3-①～⑥から読み取った内容色別の紙に書かせる。 ○ メモは色ごとにまとめて置いておく。 ○ 「読み取った情報(根拠)」「考えたこと(原因)」を分けることを意識させる。 ○ 同じ情報メモを組み合わせを変えて複数回使えることを伝える。 ○ 学習が進まない生徒・グループには、原因を予想させ、その根拠となる情報メモをさがすよう声をかける。 ○ 発表は資料を使い、根拠を明確にして、生徒に向かって説明させる。 ○ 説明は「原因(考え)」→「根拠(情報)1」→「根拠(情報)2」の順になるように指示する。 ○ 根拠が明確でなかったり、結論がなかったりする場合は、発表者に質問する。他の生徒からの付け足しも促す。
まとめ	<p>(3) 本時を振り返り、次時の課題を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 今までの学習をもとに、自分の考えをワークシートに記入しましょう。 ◆ 次の時間は、推論した原因から解決方法を考えましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループで読み取ったり考えたりした内容や全体での交流を参考にして、自分の考えを記入させる。 ◎ 資料から日本の食料自給率が低下した原因を考えることができた。 ○ 次時への見通しをもたせる。